

大阪府 PTA 協議会 福田和昭

日本 PTA 協議会の広島大会に参加させていただきました。

1 日目の分科会のテーマは防災です。広島から呉に移動し会場に到着。

以前、参加した全国大会では、駅を出たあたりから会場まで、揃いの T シャツでのぼりを持った実行委員の皆さんが、案内をしているみたいな印象だったのですが、今回は会場の前で初めて実行委員さんに会いました。

駅から会場に近いからたまたまそうなったのか、狙いがあったそうだったのかはわかりませんが、これくらいの配置の方が仰々しくなくいいですね。

講演会は、「学校で学ぶ知恵は、すべて防災で役立つ」というタイトル。

防災に役立つサイトの紹介や、防災の事例を紹介など、情報盛りだくさん詰め込んだ話。

鼻血の止め方でも、昔と今では方法が変わっていることや、間違っって言われがちな防災の話聞いて、防災に限らず情報はアップデートしていかないといけないと感じました。

2 日目の記念講演は、人工知能研究者による対話についての話。

大きく分けて感情から動く共感型と思考で動く問題解決型に分かれ、この二つのタイプのコミュニケーションは絶望的に取れない。だが、お互いの特性をわかりあうことで対話することができるということを聞きました。

共感型にしても問題解決型にしても処理のやり方が違うだけでどちらも最速に最適な答えを導こうとしてる

どちらがいいとか、どちらが優れているとかではなく、単に脳の使い方、やり方が違うだけなんだ。

お互いを対話して認め合おうということかなと考えています。

分科会、記念講演だけでなく、広島街、呉街。宮島などなど普段の生活とは違う環境で、過ごすことによりまた違った視点を得ることができました。全体の感想とし

ては対話がこれからより重要なテーマになるということを学びました。

広島大会の準備・実行に関わられた皆さんに、そして参加できたことに感謝いたします。